

GRADELE 3



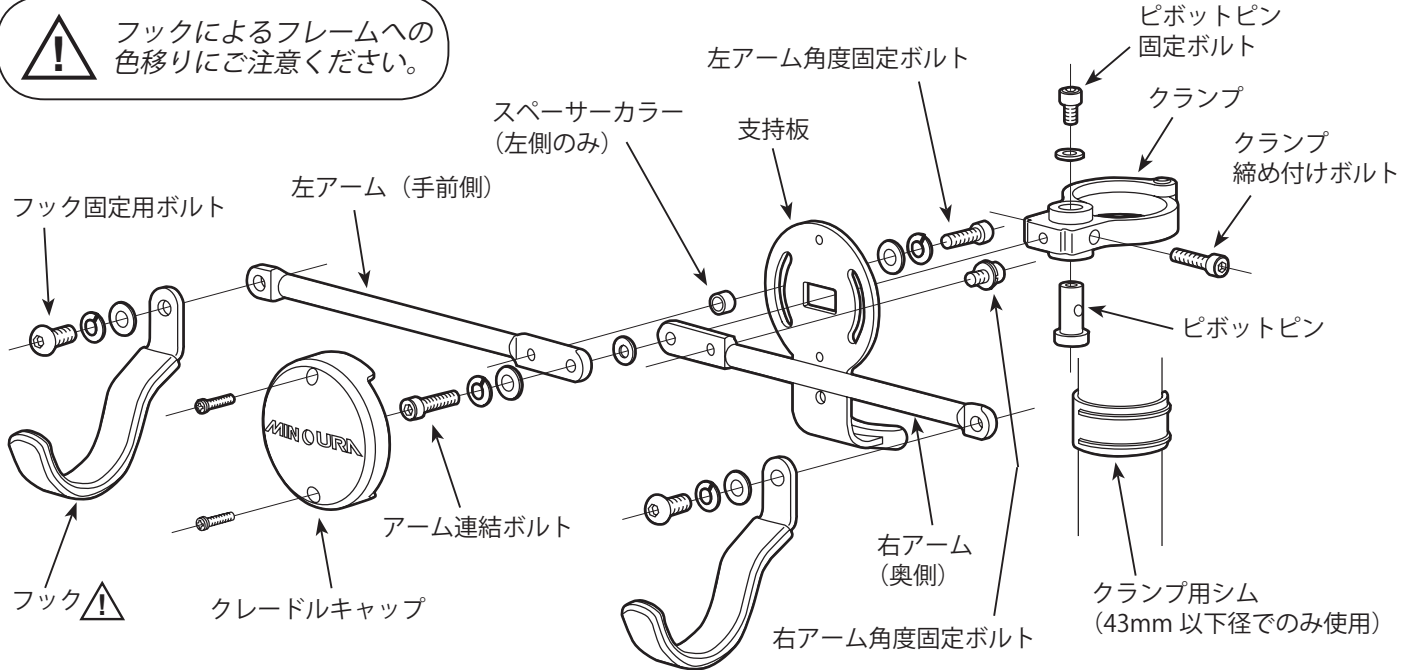
4 944924 422172

<適用径：38mm～45mm>

40mm = バイクタワー・ピット上支柱用など

45mm = タワー・ピット下支柱, P-500 / P-600 / P-700 支柱用など

! フックによるフレームへの色移りにご注意ください。



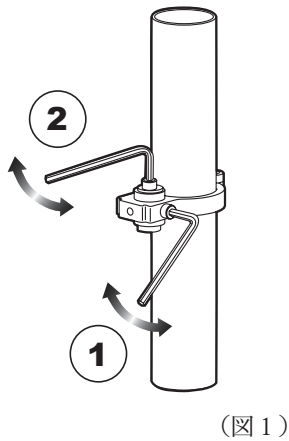
クレードルの取り付け方

(クラムの説明のため、クレードル部分は省いてあります)

必要な工具：
5ミリ六角レンチ 1ヶ

1

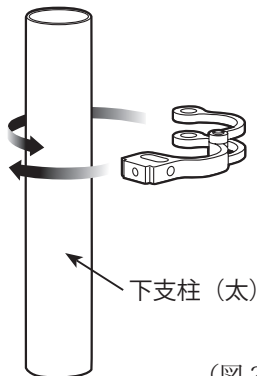
まず支柱に巻き付けるため、クラム部分を分解して開きます。最初に①クラム締め付けボルトを、続いて②ピボットピン固定ボルトを、それぞれ5ミリ六角レンチで緩めて抜き取ります (図1)。



(図1)

2

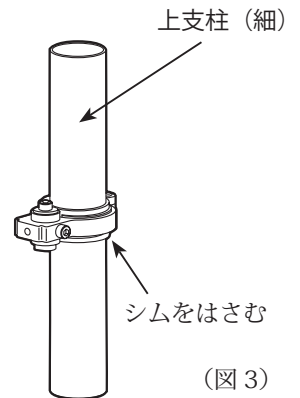
アームを開いて支柱に巻き付け (図2)、1本レバー側と2本レバー側、合わせて3つの孔を揃えます。



(図2)

!

径の細いバイクタワーやバイクピットの上支柱に取り付ける場合は、樹脂製シムをスペーサーとしてクラムの内側にはさむ必要があります (図3)。それ以外の場合は樹脂製シムは使用しません。シムの外周にある2本の突起溝の間に1本アームが収まるようにします。



(図3)

3

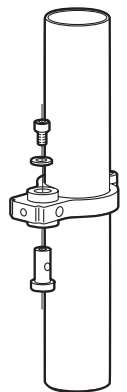
重ね合わせた3つの孔の下側から、すべての孔を通るようにピボットピンを通し、上から平ワッシャを通したピボットピン固定ボルトを軽くねじ込みます (図4)。

!

ピボットピンを上から通すと、六角レンチでボルトを回せなくなります。方向を守ること。

!

ピボットピン固定ボルトはまだ完全には締め込まないでください。次の作業が行えなくなります。



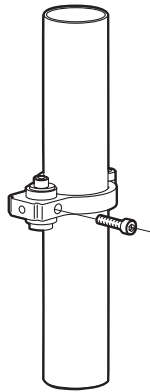
(図4)

4

ピボットピンを回転させ、ピンの側面にあるネジ孔をクランプ右側の孔と合わせます。その状態でクランプ締め付けボルトをピボットピンにねじ込みます (図5)。

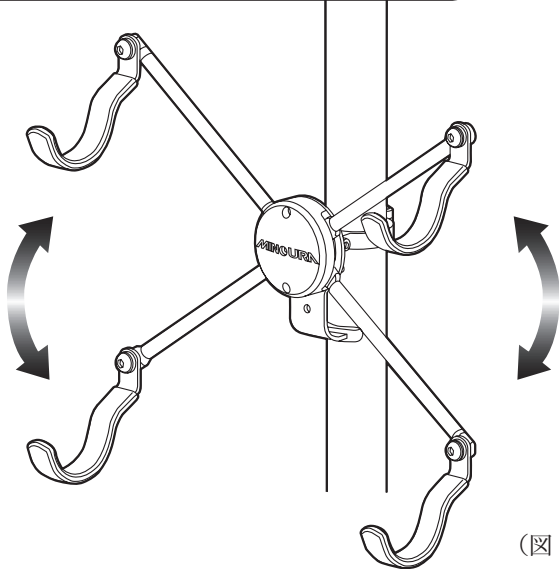


クランプを固定するには、先にクランプ固定ボルト、続いてピボットピン固定ボルトの順で締め込みます。順序を間違えるとしっかりと締め込めなくなり危険です。



(図5)

アーム角度の調整について

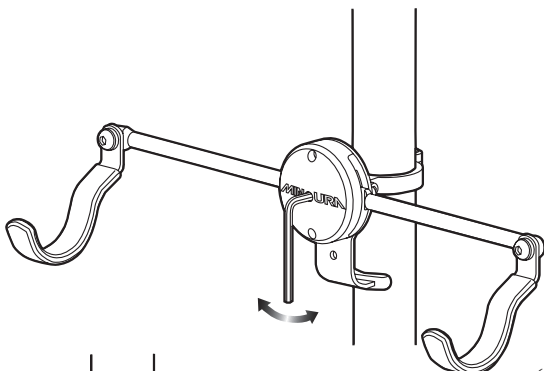


(図6)

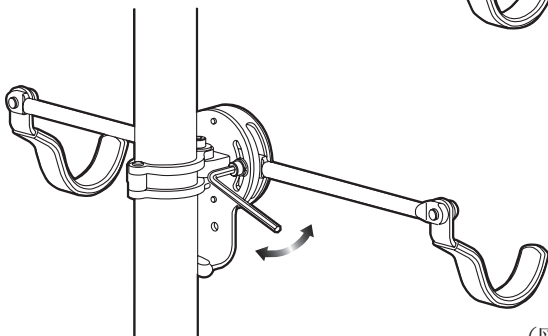
1

搭載する自転車のフレームサイズや形状に合わせて、アームは片方ずつ上下各 35° の範囲で角度を変えることができます (図6)。

アームの角度を変えるには、まず中心のアーム連結ボルトを少し緩めてから (図7)、それぞれのアームの背面にある固定ボルトを緩め (図8)、アームを手で動かします。



(図7)



(図8)

2

角度調整が終わったら、背面の固定ボルトと中心のアーム連結ボルトを再びしっかりと締め付けてます。



アームを両方とも水平より上げた状態で自転車を搭載することはお勧めできません。少なくとも荷重がより多く掛かる方のアームが水平よりも下になるようにしてください。



角度調整後にボルトをしっかりと締め付けておかないと、使用中にアームが垂れ下がってきてフック間隔が狭まり、最悪の場合フックから自転車が外れて脱落する恐れがあります。

フックのフレームへの色移りについて

自転車のフレームの表面処理によっては、フックと接触している部分が黄変するなどの色移りが起きることが稀に起きます。特に白色などの淡色のフレームでは目立ってしまいます。弊社でもこの問題を解決しようとさまざまに研究してきましたが、現時点ではこれとって決定的な解決策が見つかっておりません。

この問題を防止するためには、フックとフレームとの密着を避けることが有効です。

すなわち、フックの内側にバーテープ片などを貼り付けてみたり、あるいはフック全体を包帯などのようなもので巻いてしまうことが効果的です。

ご迷惑をお掛けしますが、自衛のほどをよろしくお願いいたします。

日常の点検について

ご使用前に下記の点について確認してください。

- 部品に亀裂や損傷がないかどうか
- ボルトは正しく締め付けられているかどうか
- フックが破れていないかどうか

日常点検を怠った状態で発生したトラブルや、経年劣化、自然摩耗、改造による異常については弊社はその責を負いかねます。

製品保証期間

お買い上げ後、1年間です。

ご購入の証となるレシートなどを保管しておいてください。

お問い合わせ先

商品に関するお問い合わせは、お買い求めになったショップにまず最初にご相談ください。

<販売元>

株式会社 深谷産業

〒462-0062 愛知県名古屋市長区新沼町150

Phone (052) 909-6201 / Fax (052) 909-6212

www.fukaya-sangyo.co.jp

<製造元>

株式会社 箕浦

〒503-2305 岐阜県安八郡神戸町神戸1197-1

Phone (0584) 27-3131 / Fax (0584) 27-7505

minoura@minoura.jp (営業部)

infodesk@minoura.jp (カスタマーサービス)

www.minoura.jp

日本製